学校番号	1011

令和８年度　学国際教養

教科	学国際教養	科目	ネパール語Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

母語をしっかりと話せることが、自分のルーツを見つめ、より良いアイデンティティを確立しいく上で大きな意味を持ち自分のルーツへの自信へとながります。
日常生活の中で、一般的な読む力を培うために、家庭生活・学校生活・自然景色・古代生活などの内容を関連つけて学習し多彩な文章に慣れ親しむことで、ネパール語に対する感覚をさらに磨きましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒の入試を経た生徒の内、ネパール語を母語とする生徒に対してネパール語教育を行い、母語の理解を深める
【思考力、判断力、表現力等】
確実に順序をふんだ読み書きの力を生活に関連させて全体的に高め、言葉のセンスと思考力を発達させ、よい言語習慣を養成する。
【学びに向かう力、人間性等】
ネパール語の言語及び文字の正確な理解を深め、運用能力、さらに鑑賞力・感性を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ネパール語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解できる。 ネパール語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、ネパール語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。	ネパール語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的にネパール語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	文法事項	文法事項がどの程度、定着しているかの確認しながら文法事項を振り返る。	a: 音声や語彙、表現、文法などについて理解することができる b: ネパール語を活用し適切に表現したり伝え合ったりできる。 c:聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとしている。	確認テスト ノート 暗唱	確認テスト 課題提出 ノート	ワークシート 課題提出
	会話	短い質問に答えたり、会話の内容に関する質問に答えることをくり返し話す力をつける。	a: 目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 b: ネパール語を活用し適切に表現したり伝え合ったりできる。 c: 聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとしている。	確認テスト ノート 暗唱	確認テスト 課題提出 ノート	ワークシート 課題提出
	語彙	学齢に応じた文章を読むことができるように、日常生活ではあまり使わない文語表現や語彙を学習する。	a: 音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解することができる b: ネパール語を活用し適切に表現したり伝え合ったりできる。 c:聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとしている。	確認テスト ノート	確認テスト 課題提出 ノート	ワークシート 課題提出
	朗読	来日により母語の学習が一定期間を切れているため、朗読を多く行う。語彙を増やし、様々な文章表現にふれる。	a: 目的や場面、状況などに応じ適切に活用できる技能を身に付けている。 b: ネパール語を活用し適切に表現したり伝え合ったりできる。 c: 聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとしている。	確認テスト ノート	確認テスト 課題提出 ノート	ワークシート 課題提出
	会話表現	母国での経験や学校生活、出身地域の紹介などの活動を通じて、自分の伝えたいことを相手に伝えるためにどんな工夫ができるか一緒に考える。	a: 音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解することができる b: ネパール語を活用し適切に表現したり伝え合ったりできる。 c:聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとしている。	確認テスト ノート	確認テスト 課題提出 ノート	ワークシート 課題提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度